

春の日帰りの旅

浅間大社・お宮横町・富士川舟下り

浅間神社総本宮「浅間大社」 B級グルメ富士宮やきそば

100年ぶりに復活した「富士川舟下り」

世田谷（8：00 出発）～浅間大社（10：00～10：40）～お宮横丁（富士宮やきそば）（10：40～11：00）～富士川町追分館やなぎ亭昼食（12：40～13：30）～富士川舟下り（14：00～14：40）～道の駅しもべ（15：00～15：40）～世田谷（19：00 着予定）



◆浅間大社

「富士本宮浅間社記」によれば、第7代孝霊天皇の御代、富士山が大噴火をしたため、周辺住民は離散し、荒れ果てた状態が長期に及んだとあります。第11代垂仁天皇はこれを憂い、その3年（前27）に浅間大神を山足の地に祀り山霊を鎮められました。これが当大社の起源です。

その後は姫神の水徳をもって噴火が静まり、平穏な日々が送れるようになったと伝えられています。この偉大な御神徳は、万人の知るところとなり、篤い崇敬を集める事となりました。また、富士山を鎮めるため浅間大神をお祀りしたのは当大社が最初であり、全国にある浅間神社の起源ともなっています。

◆富士川舟下り

富士川舟運とは、山梨県富士川町の鮎沢と静岡県富士市の岩淵を結ぶ物資の輸送の手段として、江戸時代初期から昭和初期までの約300年間に渡って隆盛を極めた富士川の舟運です。明治になって中央線開通で鉄道網の発達富士川水運は衰退し富士身延鉄道の全通により300年続いた富士川水運は幕を閉じることとなりました。

そして2012年、およそ100年ぶりに伝統的な和船による川下りが復活しました。富士山を中心とした山々からの癒しパワーを浴びながら人力で漕ぐ舟に身を任せる。そんな昔ながらの風情を味わうことができる「ちょっとした舟旅」として数多くのTVなどメディアに取り上げられるなど話題となり、県内外から大勢の観光客のかたに訪れて頂き、皆様に川下りを楽しんでいただいております

お楽しみポイント

1. B級グルメで2度優勝した富士宮やきそばの「富士山世界文化遺産登録記念」の**麺プラン（1日30食限定）を全員にプレゼント**
2. 100年ぶりに復活した「富士川舟下り」 **30分の乗船付**
3. みちの駅しもべ**特産品のサービス**